

【第2号議案①】

公益社団法人 日本タートル協会 平成30年度 事業計画書

◇事業方針

高齢化社会を突き進んでいる我が国において中高齢者・障がい者の健康の維持・増進並びに生き甲斐づくり支援は、社会的コストの削減のみならず人々の積極的な社会参加への基礎となります。

当協会は発足時より、この中・高齢者の健康増進を目的としたスポーツ振興に努めております。協会の目的に沿って、生活習慣の質的向上・中高年の体力維持向上のためにウォーキング、ジョギング、筋力トレーニング、健康教室などの公益目的事業を立案実施し、中高齢者並びに障がい者の健康の保持増進を図ると共に生き甲斐を高めるための運動指導者育成の活動を展開しております。

本年度もこうした事業方針の下、下記の通り恒例の事業に加え新たな事業を計画し推進してまいります。

◇事業計画(公益目的事業)

1. 第47回タートルマラソン国際大会兼第21回バリアフリー大会の開催

平成30年度(2018年)は、東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控え健常者のみならず障がい者の運動スポーツに対する関心が一層高まってくるものと予想されます。本大会はこの機運にそのまま沿う内容のマラソン大会でありこれまで以上に充実した内容で実施する計画です。

翻って、1972年にスタートした「タートルマラソン国際大会」は一度も途絶えることなく第47回を迎えることとなりましたが、この間に健康マラソンを目指す参加者が数千人規模から2009年以降は1万人を越える規模にまで発展して今日に至っております。

また大会の規模だけではなく、年齢、性別、国籍を問わず、又健常者から障がい者まで誰でも参加できる事を大会の基本理念として、健康づくりを意識する方々に幅広く門戸を開放しております。

そして、昨今記録を競い合う競技志向の大会が隆盛する中、当大会は他者との競争ではなく日頃の健康づくりの成果を自分自身で確かめることを第一として、更に参加者相互の親睦と交流を図ることにも主眼を置いております。

一方障がい者の参加者数を本年度は約700名(伴走者を含め約850名)を目標としており、障がいの内容も視覚障がい、聴覚障がいそして精神的な障がい、又内臓障がいとしての糖尿病の方まで多様です。同じコースを健常者も障がい者も一緒に楽しく走り、歩くを主たるテーマとして本大会の意義を積極的に周知・啓発してまいります。

(実施概要)

主催 公益社団法人 日本タートル協会

共催 足立区

後援 国土交通省荒川下流河川事務所、厚生労働省、スポーツ庁、NHK
(いずれも予定)

支援 NPO法人日本医師ジョギーズ連盟、公益社団法人日本糖尿病協会
一般社団法人足立区医師会

協力 アキレスインターナショナルジャパン
足立区ボーイスカウト・ガールスカウト協議会

1) 実施日 平成30年10月21日(日)

2) 場 所 東京都足立区荒川河川コース(会場/虹の広場)

3) 参加者 定員12,000名

※参加資格は15歳(高校生年齢以上)

※ウォーキングは中学生参加可

4) 種 目		参加見込数	参加料
ハーフマラソン		8,000名	5,000円
10kmラン		2,000名	3,500円
5kmラン		1,000名	3,000円
10kmウォーキング		250名	3,000円
5kmウォーキング		250名	3,000円
親子ペア		500名(250組)	2,000円
			(障がい者は全種目2,000円)

5) その他

障がい者の伴走者 約 150名

ボランティア参加者 約 800名

2. 公益事業として次の事業を実施

平成30年度は年6回以上開催予定。

1) タートル上期講習会 【講義及び実技】

①代々木オリンピック青少年総合センター

&代々木公園、代々木公園陸上競技場

- ・平成30年5月26日(土) 「体力向上にむけて」
- ・平成30年7月29日(日) 「夏場のトレーニング」
- ・平成30年9月15日(土) 「マラソン大会への準備」

②帝京科学大学(北千住)教室&グラウンド 【講義及び実技】

- ・平成30年4月19日(木) ・平成30年5月15日(木)

- ・平成 30 年 6 月 14 日(木) ・平成 30 年 7 月 19 日(木)
- ・平成 30 年 8 月 16 日(木) ・平成 30 年 9 月 20 日(木)

2) 定例月次練習会

平成 30 年度としては年 11 回開催予定。

原則として毎月第 1 日曜日午前 9 時から 11 時まで、代々木公園並びに代々木公園陸上競技場で練習会を開催し、健康づくりに適う正しいジョギングやウォーキング、ストレッチ等の方法を指導します。

3. その他事業計画

1) 記念イベントの継続

4 月 15 日(日曜日) 「タートルラン&ウォーク in 多摩湖」

1978 年に多摩湖畔で開催された第 1 回女子タートルマラソン大会に因んで実施した昨年の第 1 回「多摩湖ラン&ウォーク」に続き東大和市のご後援を頂き開催します。

プログラム (予定)

午前中 健康講話：当協会会長古藤高良

午後 東大和市内の指定スポットを写真撮影による訪問記録を撮りながら自由に巡るオリエンテーリング的なラン&ウォークイベント。

2) 健康指導実施施設の設置

- ・平成 30 年度上期開設予定
- ・施設名：「健康・スポーツ相談室」(仮称)
- ・平成 29 年度開設予定の「タートルL a b o.」を変更し、一般市民及びタートル会員を対象とした健康とスポーツに関する専門的な相談が行える施設を開設し、より科学的な根拠に基づく問題解決型の健康相談体制を整えます。これに今までの講習会、練習会を有機的に絡み合わせてより効率的且つ効果的な健康増進支援事業の確立を目指します。
- ・相談分野は、「健康相談」「運動相談」「スポーツ相談」「ストレス相談」の 4 分野を予定しており完全予約制で実施します。

以上

【第2号議案②-③】

正味財産増減計算書(総合収支予算)

公益社団法人日本タートル協会

(単位:円)

科目	H30年度予算	H29年度予算	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	48,748,500	52,680,000	▲ 3,931,500
会費収入	200,000	270,000	▲ 70,000
協賛金	1,200,000	2,000,000	▲ 800,000
その他収入	200,000	1,260,500	▲ 1,060,500
経常収益計	50,348,500	56,210,500	▲ 5,862,000
(2) 経常費用			
事業費	37,600,000	42,745,000	▲ 5,145,000
業務委託費	16,880,000	18,600,000	▲ 1,720,000
印刷制作費	5,600,000	7,060,000	▲ 1,460,000
諸謝金	2,000,000	2,464,000	▲ 464,000
宿泊費	70,000	80,000	▲ 10,000
旅費交通費	800,000	851,000	▲ 51,000
保険料	800,000	870,000	▲ 70,000
消耗品費	2,900,000	2,750,000	150,000
警備費	550,000	486,000	64,000
衛生費	2,500,000	3,200,000	▲ 700,000
賃貸料	1,400,000	2,700,000	▲ 1,300,000
通信費	400,000	250,000	150,000
会議費	300,000	684,000	▲ 384,000
手数料	1,700,000	1,150,000	550,000
広告宣伝費	1,000,000	1,000,000	0
雑費	700,000	600,000	100,000
管理費	12,550,000	11,257,000	1,293,000
給料手当	7,500,000	6,320,000	1,180,000
旅費交通費	800,000	700,000	100,000
通信費	300,000	300,000	0
家賃	3,050,000	3,180,000	▲ 130,000
支払手数料	200,000	17,000	183,000
消耗品	450,000	440,000	10,000
会議費	100,000	100,000	0
雑費	150,000	200,000	▲ 50,000
経常費用計	50,150,000	54,002,000	▲ 3,852,000
当期経常増減額	198,500	2,208,500	▲ 2,010,000
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
(2) 経常外費用			0
当期一般正味財産増減額	198,500	2,208,500	▲ 2,010,000

正味財産増減計算書内訳表（収支予算）

公益社団法人日本タートル協会

（単位：円）

科 目	H30公益目的事業会計	H30法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	47,200,000	1,548,500	48,748,500
会費収入	100,000	100,000	200,000
協賛金	600,000	600,000	1,200,000
その他収入	200,000	—	200,000
経常収益計	48,100,000	2,248,500	50,348,500
(2) 経常費用			0
事業費	37,600,000		37,600,000
業務委託費	16,880,000		16,880,000
印刷制作費	5,600,000		5,600,000
諸謝金	2,000,000		2,000,000
宿泊費	70,000		70,000
旅費交通費	800,000		800,000
保険料	800,000		800,000
消耗品費	2,900,000		2,900,000
警備費	550,000		550,000
衛生費	2,500,000		2,500,000
賃貸料	1,400,000		1,400,000
通信費	400,000		400,000
会議費	300,000		300,000
手数料	1,700,000		1,700,000
広告宣伝費	1,000,000		1,000,000
雑費	700,000		700,000
管理費	11,295,000	1,255,000	12,550,000
給料手当	6,750,000	750,000	7,500,000
旅費交通費	720,000	80,000	800,000
通信費	270,000	30,000	300,000
家賃	2,745,000	305,000	3,050,000
支払手数料	180,000	20,000	200,000
消耗品	405,000	45,000	450,000
会議費	90,000	10,000	100,000
雑費	135,000	15,000	150,000
経常費用計	48,895,000	1,255,000	50,150,000
当期経常増減額	▲ 795,000	993,500	198,500
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 795,000	993,500	198,500